

平成 22 年 1 月 28 日

機能性樹脂事業の強化について ～塩ビコンパウンド製造設備を中国で増設～

三菱化学株式会社

株式会社三菱ケミカルホールディングス(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「MCHC」)の中核事業会社である三菱化学株式会社(本社:東京都港区、社長:小林 喜光、以下「当社」)は、需要が拡大している中国に塩ビコンパウンド製造設備を増設いたします。

塩ビコンパウンド製品は、自動車の内装材や電線の被覆材等に使用され、今後特に中国、東南アジア、インドを中心としたアジアにおいて長期的な需要の伸びが見込まれております。当社は、現在国内だけでなく、中国、タイ、シンガポール、北米と世界各国で塩ビコンパウンドを製造・販売しておりますが、この需要の伸びに対応すべく現在中国に保有する製造設備を増設いたします。増設する設備は、現在中国にて同製品の製造・販売を行っている当社の子会社である愛普科精細化工(蘇州)有限公司(以下「愛普科社」、詳細は下記の通り)の敷地内に設置し、本年末完成予定です。

(現生産能力 6,500t/y、増設後生産能力 12,500t/y)

なお、国内における塩ビコンパウンドの製造は、主に当社名古屋事業所及び MCHC のグループ会社である日東化工株式会社(本社:神奈川県高座郡寒川町、社長:鍵崎 正己、以下「日東化工」)において行っておりますが、近年の国内需要の減少に鑑み、日東化工への製造委託を平成 22 年 9 月をもって終了し、名古屋事業所に集約することといたしました。

一方、今後とも日東化工を当社機能性樹脂事業の重要な拠点の一つとして位置づけ、現在同社に製造委託している他の機能性樹脂製品(オレフィン系軟質樹脂等)の委託を拡大するとともに、近年国内で需要が急増している新規難燃ポリオレフィンコンパウンド「オレフィスタ」の製造委託を今後新たに開始いたします。

当社は、昨年 12 月にタイにある製造販売会社のサンブレンタイを 100%子会社化し、今回中国の塩ビコンパウンド製造設備を増設いたしますが、今後も MCHC の中期経営計画の集中事業の一つとして位置づけている機能性樹脂事業の国内外での拡大に向け更なる施策を進めてまいります。

記

会社名	愛普科精細化工(蘇州)有限公司
設立	平成 14 年 4 月 1 日
社長	豊田 師郎
本社所在地	中華人民共和国蘇州新区華山路 148 号
資本金	約 3.3 億円(24,831 千元)
売上高	1.1 億円(平成 21 年 12 月期)
従業員数	70 人(平成 21 年 12 月末)

以上

【問合せ先】

三菱化学株式会社 広報・IR 室
TEL:03-6414-3730